

生ごみの減量化・資源化の方策

項目	意見の内容	種別	現状	目標	経費	具体的な方策
生ごみ処理機関係	生ごみ処理機の補助金制度を継続する。	継続	平成23年3月31日までは継続予定。 補助率1/2 限度額20,000円			
	生ごみ処理機の補助金を増額し、個人負担を少なくして普及を図る。	充実				
	ダンボール式生ごみ処理の方法を広報し普及を図る。	新規	方法のパンフレットを窓口を設置			
	生ごみ処理機の電気代等のコストとタイプ、特徴（機種）を市民に広報する。	新規				
	個人のごみ処理機に対する補助金について更に周知徹底する。	継続				

項目	意見の内容	種別	現状	目標	経費	具体的な方策
啓発活動	地区へごみの説明会を開催する。 市の説明会を複数回実施する。	継続	年度末に市内31ヶ所の説明会の開催をお願いしている。			
	鎌倉市のように出前講座を開催する。	継続	現在、伊那市ではお出かけ講座という事で実施している。依頼をされて毎年行なっている地区もある。			
	地区の行事に「ごみ分別クイズ」を行なって、根気良く、啓発活動が続ける。	継続	希望のある地区にはサンプルとクイズを随時貸出ししている。			
	減量化・資源化のアイデア等の方法を示す。（広報する）	新規				
	年齢・世代(若年層や年配者)に関わらず、再資源化の方法等を周知する。	新規				

項目	意見の内容	種別	現状	目標	経費	具体的な方策
啓発活動	若年層は生ごみの再資源化に対して意識が希薄であるので、その意識付けをする。	新規				
	市民の意見、委員会の意見で上がった、活用可能な方法や募集した市民アイデアを啓発活動に利用する。	新規				
	分別の原点に帰り、生ごみ版を作るべき。(方策を示した)	新規				
	市民に対して、厳しくするのはいかななものか。市報等の広報の量が多過ぎて、目が届かない。					
	アパート等は大家さんから啓発。	継続	年1回、アパートの管理会社等へは、説明会を開催している。			

項目	意見の内容	種別	現状	目標	経費	具体的な方策
啓発活動	市民に不法投棄の現状を見ていただく事も一案。					
	もったいない意識が薄れている。					

項目	意見の内容	種別	現状	目標	経費	具体的な方策
生活改善や地域での活動	地域での生活改善が必要。					
	料理で残らない量をつくる。 必要最小限の買い物と食事。 大量生産、大量消費を改める。					
	生ごみの水分減量のため、水切りバケツの採用（貸与）して減量を図る。					
	くだものの皮などは天日に当て水分を取り、目方を減らす。（臭いのは除く）					
	残飯は自家処理する。					

項目	意見の内容	種別	現状	目標	経費	具体的な方策
生活改善や地域での活動	何人かグループを作り工夫の輪を広げる（ぼかし利用等）					
	地区の衛生自治会等が中心になり、区を上げて協力してもらう					
	包装は簡易包装。					
	土に埋めて戻す。（鳥、猫等に掘られないように分別して）					

項目	意見の内容	種別	現状	目標	経費	具体的な方策
その他	エコポイント制度を導入しては。 (い〜なちゃんカードを利用して)	新規				
	全世帯にアンケートを行い、100% の回収を目指す。行政に期待したい ことを盛込めば。	新規				
	生ごみの堆肥化施設に取り組むべ き。	新規				
	機械投資はフォローが大変。					
	生ごみを堆肥にする。できるものは 家畜飼料にしては。(豚の餌)	新規				

項目	意見の内容	種別	現状	目標	経費	具体的な方策
その他	市がバケツを貸し出し、生ごみをそれで農家へ持ち込むと花の苗と交換してくれる。	新規				
	市場でせりを行なう時、傷で除いたものを売る努力をする。（箱単位処分を改める）					
	方法によりゴミの分別をしていく。	継続				
	チケットが余る。市民に恩恵があると良い。	新規	上伊那広域連合で、小学校の児童会を対象に回収制度を行なう予定。			